湖南市全域の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

人口	54,964 人		
国保加入率	20.9 %	自治会加入率	63.0 %
高齢者数	12,417 人	高齢化率	22.6 %
出生数	476 人	出生率(人口千対)	8.7 %
外国人数	2,625 人	外国人率	4.8 %

医療

医療機関	23 か所
歯科医療機関	19 か所

生活環境

滋賀県の南部に位置し、南北に阿星山系、岩根山系を望む丘陵地で、中央に野洲川が流れ、東西に国道一号線とＪＲ草津線が走る。

面積は70.4㎢、市中央部から他市との境まで車で15～20分の範囲にある。

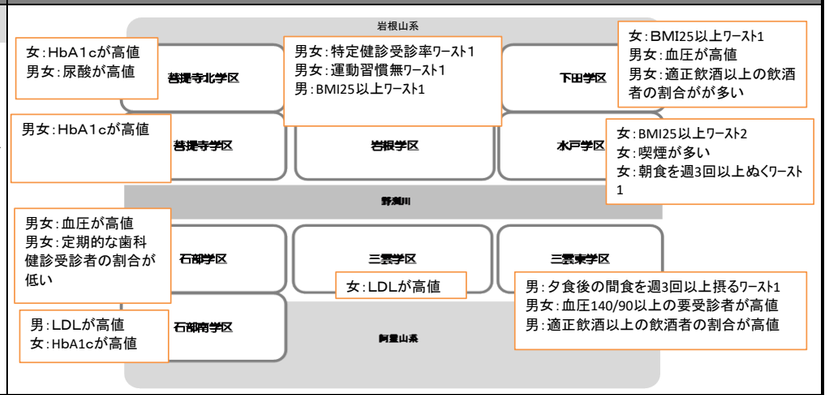
43区、７まちづくり協議会、４中学校、９小学校があり、日常生活圏域は中学校区の４圏域で設定している。

各地域により人口構成や住民の居住年数が異なり、さらに社会資源の状況や地域での支え合いの状況などにも違いが見受けられる。

＜主な食品店舗＞

食品スーパー　６店舗

各小学校区の健康マップ（改善が必要な項目）



市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者		特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く）		健康診査（75歳～）
	男	女	男	女	男女
血圧130/85mmHg以上	22.9%	5.4%	36.1%	32.5%	57.3%
HbA1c 5.6%以上	17.1%	8.5%	44.9%	48.2%	50.8%
LDL 120mg/dl以上	40.7%	21.2%	24.4%	27.2%	47.9%
尿酸 7.0mg/dl以上	20.9%	0.3%	14.7%	1.9%	
BMI 25以上	20.3%	3.9%	29.3%	21.3%	

H27年度（2015年度）特定健診結果：県比較

H27年度特定健診結果：県比較	滋賀県		湖南市	
	男	女	男	女
血圧130/85mmHg以上	50.1%	45.1%	52.8%	49.8%
HbA1c 5.6%以上	57.9%	57.4%	63.0%	61.5%
LDL 120mg/dl以上	48.1%	59.4%	47.3%	60.2%
尿酸 7.0mg/dl以上	16.2%	1.8%	17.7%	2.0%
BMI 25以上	27.1%	18.8%	27.1%	19.7%

＜死因＞

標準化死亡比において、滋賀県の男性では「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」が１２３．２と最も高い値を示し。女性では「交通事故」が１２９．９と最も高い。湖南市においては、男性では「心疾患」が１３１．６と県下で最も高い値であり、次いで「急性心筋梗塞」が１２３．８である。女性では「その他の虚血性心疾患」が１６３．０で最も高い値を示し、次いで高いのは「心疾患」の１５３．９である。女性の「心疾患」も、県内市町で最も高い値となっている。〈健康こなん２１計画(以下計画という)Ｐ１２より〉

がんの部位別死亡者数は、「気管・気管支および肺」が２２人と最も多く、次いで「大腸（結腸、直腸S状結腸移行部の合計）」が20人となっている。　〈平成２８年度（2016年度）湖南市保健事業年報(以下年報とする)より〉

健康づくり調査や健診質問票結果から

「野菜の摂取量」は国は２９３．６g〈平成27年度（2015年度）国民健康栄養調査より〉、滋賀県は２９９．９g、湖南市は２９０．１gと低い。　〈平成２７年度（2015年度）滋賀の健康栄養マップ調査より〉

「受動喫煙の機会が家庭でほぼ毎日ある割合」は、全国は９．３%、滋賀県は１２．６%、湖南市は１５．２%と高い。

〈計画P59、資料編参照〉

その他

疾患別医療費の内訳では、「循環器系の疾患」が１６．５%と最も高い。〈計画P13より〉

介護保険第2号被保険者の原因疾患では、脳血管疾患が県は615人で４６．９%、湖南市は40人で６０．６%と高い。〈計画P11より〉

特定健診では県と共に、男性はHbA1c･収縮期血圧、女性はHbA1c･ＬＤＬがそれぞれ上位２項目を占めている。〈平成27年度〈平成２７年度（2015年度）滋賀の健康栄養マップ調査より〉KDB様式6－1(以下KDBとする)より〉

５年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

保健部局（保健センター）が地域のソーシャル・キャピタル（地域のつながり）の活用を通じた健康なまちづくりを推進する。

重点的な取り組み（最優先課題）

循環器系の疾患（心疾患・高血圧症・脳血管疾患）および糖尿病の予防対策が必要である。

- ＨｂＡ１cが６．５%以上の人を０．０５ポイント下げる。〈計画Ｐ４０〉
- 野菜の摂取量を３５０ｇ〈計画Ｐ４９〉、収縮期血圧の平均値を、男性２ポイント、女性１ポイント下げる。〈計画Ｐ３６〉
- 「日頃から自分の健康づくりのために意識的に運動を実行している人」の割合を、男性３１．５%、女性３３．４%に上げる。〈計画Ｐ５３〉
- 受動喫煙の機会を０．３ポイント下げる。〈計画Ｐ６０〉

肺がんおよび大腸がんの予防対策として肺がん検診、大腸がん検診について受診率を５０%とし、早期発見に努める必要がある。〈計画Ｐ４２〉

特定保健指導の終了率を段階的に６０%とし、生活習慣の見直しを図る必要がある。〈計画Ｐ３６〉

現状と課題（特徴）

- 湖南市のEBSMR（標準化死亡比2004年―2013年）について、「心疾患」が男女ともに県下ではワースト1位である。加えて、湖南市の男性は、「脳内出血」で県下でワースト1位、「脳梗塞」でワースト2位となっている。〈計画P12より〉
- 特定健診では、収縮期血圧の有所見割合が滋賀県男性５０．１%女性４５．１%、湖南市は男性５２．８%女性４９．８%と高い。〈KDBより〉
- がん検診の受診率について、肺がんは滋賀県の男性は２０．５%、女性は１５．６%、湖南市は２４．１%、大腸がんは滋賀県の男性は２８．２%、女性は２３．９%、湖南市は４１．４%と県よりは高いが、目標の５０%には到達していない。〈滋賀県：平成21年度（2009年度）滋賀の健康栄養マップ調査、湖南市：平成28年度健康づくり調査、資料編より〉
- 平成27年度特定健診におけるＨｂＡ１cの有所見の割合は、滋賀県男性５７．９%、女性５７．４%、湖南市男性６３．０%、女性６１．５%と若干高い。〈KDBより〉
- 国保の一人あたりの外来医療費の糖尿病について、滋賀県は15,910円、湖南市は19,333円と高い。〈KDBより〉
- 特定保健指導終了率について、全国は２５．１%〈平成27年度〈平成２７年度（2015年度）滋賀の健康栄養マップ調査より〉国保法定報告より〉、滋賀県３２．０%、湖南市は２６．４%と低い。〈年報より〉
- 「日頃から自分の健康づくりのために意識的に運動を実行している人」の割合が、滋賀県男性は１６．０%、女性１４．２%で、湖南市男性は３０．０%、女性３２．４%と、県と比較すると高いが、国の目標値男性３６%、女性３３%には到達していない。〈資料編より〉

具体的な手だて（行動計画）

生活習慣の改善意欲があるものの行動できていない市民に向けて行動変容を促すために、地区担当保健師や管理栄養士が市民の生活の場に出向き、循環器系の疾患、糖尿病の予防やがんについての正しい知識の普及啓発など、地域の集まりの場での出前講座、特定保健指導や訪問指導を展開し、生活習慣の改善を図る。

- 各種料理教室において、野菜摂取や減塩の必要性を体験し、食生活の改善を図る。
- 健康こなんポイント事業で、インセンティブを付与すること（動機付け）をきっかけに、生活習慣の改善を図る。
- 地域住民主体の定期的な運動習慣の定着ための環境づくりを支援する。
  （例：まちづくり協議会交付金活用など）
- 受動喫煙の機会の減少を図るために、特に若い世代（20～44歳）に向けての禁煙の啓発として、リーフレット等を校園や成人式などで配布する。また、タウンメールも活用する。
- 特定保健指導終了率を上げるために、市民にとって利用しやすい環境にする。
- 各小学校区の健康課題を解決するために、地区担当保健師が地域に責任を持てる保健活動を展開できるよう支援する。

三雲東小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	5,038 人		
国保加入率	19.7 %	自治会加入率	54.1 %
高齢者数	1,137 人	高齢化率	22.6 %
出生数	50 人	出生率(人口千対)	9.9 %
外国人数	176 人	外国人率	3.5 %

医療

医療機関	1 か所
歯科医療機関	1 か所

生活環境

自然豊かで、旧東海道には古い町並みが残っている。住宅地には市外からの子育て世代の転入が多く、核家族が多い。児童館やつどいの広場が身近な相談や交流の場になっている。

買い物や医療受診など、生活には車での移動が主になっている。

山が占める面積が大きく、山に向かうにつれて、坂が多くて交通に不便な場所があるが、高齢化率も高めになっている。高齢化率は高いところと低いところが混在しているが、前期高齢者が多い。

区活動は盛んに行われている。転入者や核家族のなかには、地域の情報を得にくかったり、交流が少ない場合もある。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　0 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者 男	成人健診 女	特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く） 男	特定健診 女	健康診査（75歳～） 男女
血圧130/85mmHg以上	13.8%	4.2%	30.6%	34.7%	60.4%
HbA1c 5.6%以上	10.0%	11.8%	36.6%	44.9%	32.4%
LDL 120mg/dl以上	46.7%	11.8%	21.6%	30.9%	43.8%
尿酸 7.0mg/dl以上	10.0%	0.8%	13.4%	2.3%	
BMI 25以上	13.3%	6.1%	31.0%	20.0%	

市平均より、優れているところ
市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 健診より、女性では血圧、ＬＤＬコレステロール、尿酸が高い人が多い傾向にある。男性ではBMIが高い人が市よりも多い。
- また男性では、夕食後の間食をとる人、朝食を抜く人、飲酒の習慣のある人が多い。
- 健康づくり調査より、日頃意識的に運動している割合が低いが、徒歩でいく割合は高い。
- 飲酒習慣のある割合が高く、１日２合以上飲む割合も高い。睡眠があまりとれていない割合が高い。
- 健康に関心がない人の割合が高い。がん検診・健診、歯科検診を受けている割合が低い。

その他

平成27年度特定健診結果では、血圧１４０/９０mmHg以上（要受診）の割合（男女）が市で最も高い。

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

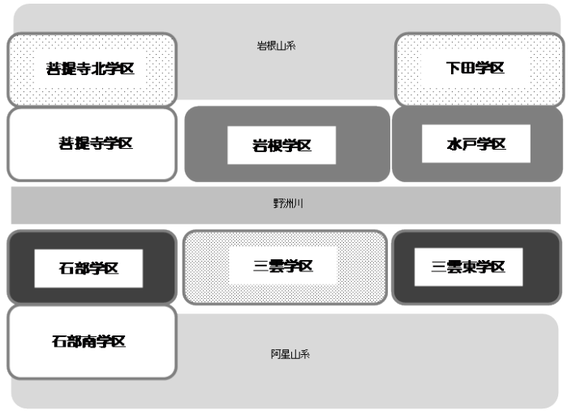
	夕食後の間食を週3回以上 男	順位
三雲東	11.6%	9
石部	11.6%	8
水戸	11.4%	7
岩根	11.2%	6
三雲	9.9%	5
下田	9.9%	4
菩提寺北	9.9%	3
菩提寺	9.5%	2
石部南	7.4%	1
湖南市	10.3%	

	飲酒あり 男(毎日2合以上)	順位
岩根	11.8%	9
三雲東	11.2%	8
下田	10.8%	7
石部南	10.7%	6
石部	10.4%	5
菩提寺北	8.9%	4
水戸	7.5%	3
菩提寺	7.4%	2
三雲	5.5%	1
湖南市	9.3%	

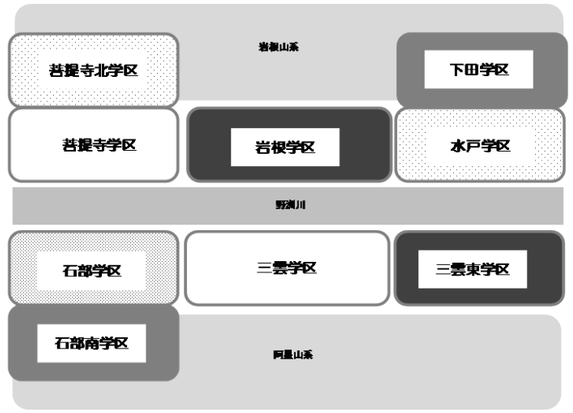
マップの凡例

- 最も悪い学区 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 1番目に良い学区

特定健診　男性　夕食後の間食を週３回以上とる人



特定健診　男性　飲酒（毎日２合以上）



５年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が地縁を活かし、適正飲酒を心がけ、心身の健康づくりに取り組むことができる。

重点的な取り組み（最優先課題）

高血圧症予防のために早期から食生活や飲酒習慣を見直す機会を持てるよう啓発し、血圧の高い人（要受診）の割合を５ポイント減少させる。
毎日2合以上飲む人の割合を３ポイント減少させる。

現状と課題（特徴）

血圧の要受診の人が多い傾向にあり、市に対して男性で3.6ポイント、女性で15.8ポイント高い。

男性では適正飲酒以上の飲酒習慣のある人の割合が市より1.9ポイント高い。

具体的な手だて（行動計画）

伝達料理教室や子育てサークル、まちづくりセンターのサークルで集まるところに出向き、高血圧症予防、こころの健康と飲酒について講話を行う。
健診受診者のうち適正飲酒以上の人に対して、飲酒習慣の聞き取りをし、保健指導する。
地区住民と地域の状況を共有し、健診の受診や生活習慣について、地域でつながりをもてたり、強められるよう取り組みを広げていく。

三雲小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	10,178 人		
国保加入率	20.2 %	自治会加入率	54.1 %
高齢者数	2,433 人	高齢化率	23.9 %
出生数	76 人	出生率(人口千対)	7.5 %
外国人数	366 人	外国人率	3.6 %

医療

医療機関	9 か所
歯科医療機関	4 か所

生活環境

学区の面積が広く、旧街道・国道に沿って東西に長いため、場所によっては自家用車がなければ不便な土地もある。

国道１号線およびＪＲ草津線・甲西駅を交通の起点とする地域で、市役所や図書館など公的な機関が集まり、市役所などがある中心地は、歩道も整備されている。また店舗も多く、大型酒店やスーパー、コンビニ、飲食店も多い。

また、総合体育館もあり、生涯学習の場となっている。民間の運動施設がある。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　1 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者		特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く）		健康診査（75歳～）
	男	女	男	女	男女
血圧130/85mmHg以上	31.4%	2.9%	35.6%	30.7%	56.3%
HbA1c 5.6%以上	23.5%	7.1%	43.2%	50.6%	43.8%
LDL 120mg/dl以上	31.4%	14.3%	22.1%	44.3%	54.2%
尿酸 7.0mg/dl以上	21.6%	0.0%	14.3%	1.5%	
BMI 25以上	33.3%	10.2%	26.7%	23.7%	

市平均より、優れているところ
市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 男性の30分以上の運動習慣のない人の割合は市より0.2ポイント多い。
- 女性の30分以上の運動習慣のない人の割合は市より3.3ポイント少なく、市内で最も運動習慣が定着している。
- 夕食後に週3回以上間食をする人の割合は男女とも10%前後になっており、男性よりも女性の方が夕食後の間食が多い。
- 朝食を週3回以上抜く人は、女性よりも男性が多く、男性8.2%、女性6.2%となっている。市と比較すると、女性で朝食を抜く人が市平均よりも0.7ポイント高い。

その他

介護保険第2号被保険者の認定者の原因疾患が脳血管疾患である割合が他小学校区に比べて高い。

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

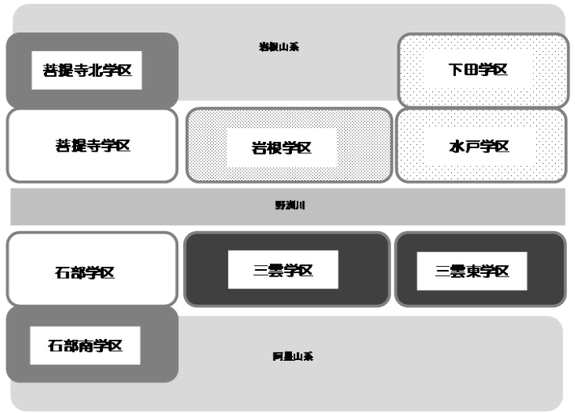
	LDL(女) 120以上(保)	順位
三雲	44.3%	9
三雲東	30.9%	8
石部南	28.4%	7
菩提寺北	25.7%	6
岩根	25.2%	5
下田	23.6%	4
水戸	22.7%	3
石部	22.2%	2
菩提寺	21.6%	1
湖南市	27.2%	

	BMI(女) 25以上	順位
下田	25.9%	9
水戸	23.9%	8
三雲	23.7%	7
岩根	23.4%	6
三雲東	20.0%	5
石部	18.9%	4
石部南	18.8%	3
菩提寺北	18.6%	2
菩提寺	18.1%	1
湖南市	21.3%	

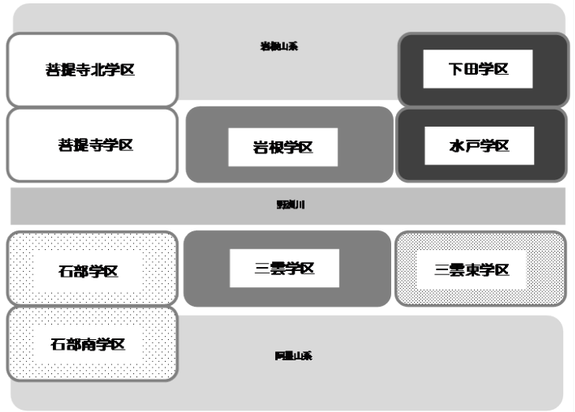
マップの凡例

- 最も悪い学区 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 1番目に良い学区

特定健診　LDL　女性



特定健診　BMI　女性



5年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が食生活や運動習慣の見直しを行い、健康づくりについて自ら考え行動することができる。

重点的な取り組み（最優先課題）

女性のLDL要指導値以上の割合を市平均との差５ポイント未満に減らす。
女性の肥満の割合を市平均との差２ポイント未満に減らす。

現状と課題（特徴）

LDLが高い女性の割合(44.3%)が市内で最も高く、市平均(27.2%)と比較して17.1ポイント高い。LDLは単発で動脈硬化のリスクとなりうる。
BMIが高い女性の割合(23.7%)が市内で3番目に高く、市平均(21.3%)と比較して2.4ポイント高い。
女性の運動習慣がある人の割合は市内で最も高いが、食生活については間食を取る人が市と比較して0.4ポイント高く、朝食を抜く人は0.7ポイント高い。
肥満については、成人期からの継続した課題であり、生活習慣病のリスクともなりうることから、対策が必要である。

具体的な手だて（行動計画）

伝達料理教室や地域での集まりの際に、食生活についての講話（間食の摂取について・朝食の重要性）を行う。
具体的な生活習慣を把握し、グループワーク等を通して一緒に健康づくりについて考え、生活習慣改善を目指す。

石部小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	6,407 人		
国保加入率	20.1 %	自治会加入率	41.0 %
高齢者数	1,458 人	高齢化率	22.8 %
出生数	64 人	出生率(人口千対)	10.0 %
外国人数	272 人	外国人率	4.2 %

医療

医療機関	4 か所
歯科医療機関	5 か所

生活環境

東海道五十三次の宿場まちであり、昔から商業が発展してきた。

旧町単位でまつりを開催し、地域のつながりが強い。

一方で大阪や京都などにも通勤が可能であり、宅地化が進んでいる。

宅地は、集合住宅や一戸建てになり、転入者が多い。畑や田んぼは少なくなっている。

中心部には、商店などが集中しており生活しやすい。また、小学校区内には医療機関も多く、受診しやすい環境になっている。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　2 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者 男	成人健診 女	特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く） 男	特定健診 女	健康診査（75歳～） 男女
血圧130/85mmHg以上	14.8%	3.4%	50.0%	45.8%	50.0%
HbA1c 5.6%以上	22.2%	10.7%	48.4%	51.6%	54.5%
LDL 120mg/dl以上	51.9%	22.9%	24.4%	22.2%	32.8%
尿酸 7.0mg/dl以上	3.7%	0.5%	13.2%	1.1%	
BMI 25以上	7.4%	11.9%	29.2%	18.9%	

市平均より、優れているところ
市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 成人健診では、男性でLDLコレステロールが高い人、女性で肥満の人が市で一番多い。
- 特定健診では、男女とも血圧が高い人が、市で一番多い。また、男性では運動習慣のある人は少なく、夕食後に間食している人も多い。
- 女性では、朝食をしっかり食べている人が多い。
- 喫煙状況では、男性で喫煙している人が多く、女性は市の割合よりも低かった。
- 介護保険第２号認定者数の原因疾患は脳血管疾患が多い。
- 健康づくり調査では、食事の内容や取り方に気をつけている人が多い。

その他

【歯科】健康づくり調査では、歯科健診を受けている人が少ない。（４３%）
小学生では、3回以上歯磨きをしている人が少なく、むし歯がある人は以前は多かった。

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

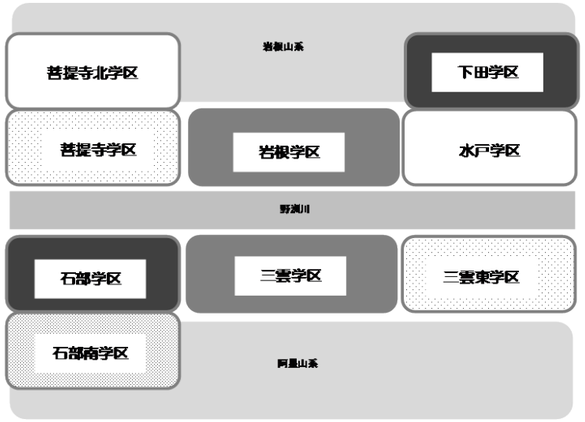
	血圧(男) 130/85以上(保)	順位
石部	50.0%	9
下田	44.4%	8
岩根	38.8%	7
三雲	35.6%	6
石部南	35.1%	5
菩提寺	34.5%	4
三雲東	30.6%	3
菩提寺北	29.1%	2
水戸	26.4%	1
湖南市	36.1%	

	血圧(女) 130/85以上(保)	順位
石部	45.8%	9
下田	45.5%	8
三雲東	34.7%	7
菩提寺	33.2%	6
三雲	30.7%	5
岩根	30.3%	4
石部南	25.5%	3
菩提寺北	25.3%	2
水戸	21.8%	1
湖南市	32.5%	

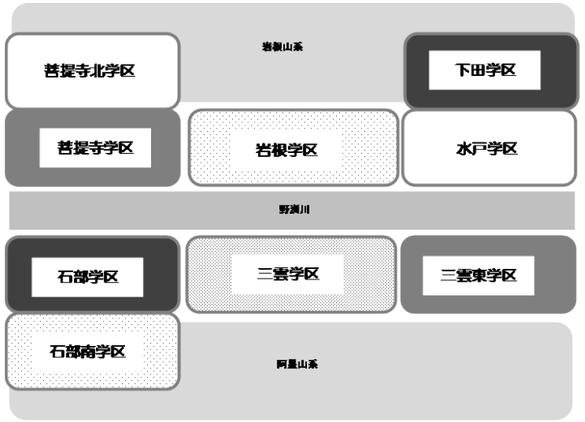
マップの凡例

- 最も悪い学区 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 1番目に良い学区

特定健診　男　血圧



特定健診　女　血圧



5年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が自分の住んでいる地区の健康状況を知り、高血圧症予防に取り組むことができる。
また、自分の歯でいつまでも食べることができる。

重点的な取り組み（最優先課題）

血圧の高い人を男女ともに５ポイント減少させる。
歯科健診受診率を４８%にする。

現状と課題（特徴）

生活習慣病である高血圧症が男性が市より13.9ポイント、女性が13.3ポイント高い。糖尿病予備群HｂA1cは男性で3.5ポイント、女性で3.4ポイント高い。これは、介護保険の原因疾患である脳血管疾患につながっている可能性がある。

むし歯予防や歯周病予防に取り組んでいる人が少ない。

具体的な手だて（行動計画）

高血圧症予防のために、食生活の工夫などを地区活動が盛んな健康推進員と共に伝達料理講習会などで伝えていく。
また、幼児期の歯科健康教育（フッ素化合物の活用）に大人の歯周病予防の講話（歯科健診の重要性）を取り入れていく。

石部南小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	5,515 人		
国保加入率	22.9 %	自治会加入率	62.2 %
高齢者数	1,416 人	高齢化率	25.7 %
出生数	34 人	出生率(人口千対)	6.2 %
外国人数	178 人	外国人率	3.2 %

医療

医療機関	0 か所
歯科医療機関	1 か所

生活環境

新興住宅地と旧在所で構成されており、旧在所は特に高齢化が進んでいる。

最寄駅や商店、病院等からは距離が離れているため、自動車がなければ不便と感じることも少なくない。

土石流氾濫域が多いが、まちづくり協議会を中心に防災に関する活動をしている。また、まちづくり協議会では、子育て世代や小中学生を対象とした事業もあり、幅広い年齢に向けた活動をしている。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　0 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者		特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く）		健康診査（75歳～）
	男	女	男	女	男女
血圧130/85mmHg以上	20.0%	2.8%	35.1%	25.5%	59.0%
HbA1c 5.6%以上	19.1%	11.2%	46.8%	54.2%	51.8%
LDL 120mg/dl以上	40.0%	23.4%	30.8%	28.4%	49.2%
尿酸 7.0mg/dl以上	22.9%	0.0%	14.4%	2.6%	
BMI 25以上	25.7%	8.0%	30.1%	18.8%	

市平均より、優れているところ

市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 「30分以上の運動習慣なし」の割合（特定健診）は、男性は47.8%で市内で最も低い。女性は55.9%で市内で２番目に低い。男女ともに運動習慣が定着している。
- 日頃意識的に運動している人の割合（H28健康づくり調査）は33.0%で市内で最も高く、運動習慣が定着しているといえる。
- 夕食後の間食を週３回以上とる人の割合（H28健康づくり調査）は男性は47.8%で市内で最も低い。女性は55.9%で市内で２番目に低い。
- 平成27年度（2015年度）特定健診受診率は市平均よりも高い。

その他

平成27年度（2015年度）介護保険第１号被保険者の認定率は市平均よりはやや少ない。認定者の内訳をみると、要支援１～要介護２までの軽度認定者の割合が市平均より高い。

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

	LDL(男) 120以上(保)	順位
石部南	30.8%	9
水戸	27.9%	8
菩提寺	27.3%	7
菩提寺北	25.1%	6
石部	24.4%	5
三雲	22.1%	4
下田	21.6%	3
三雲東	21.6%	2
岩根	18.8%	1
湖南市	24.4%	

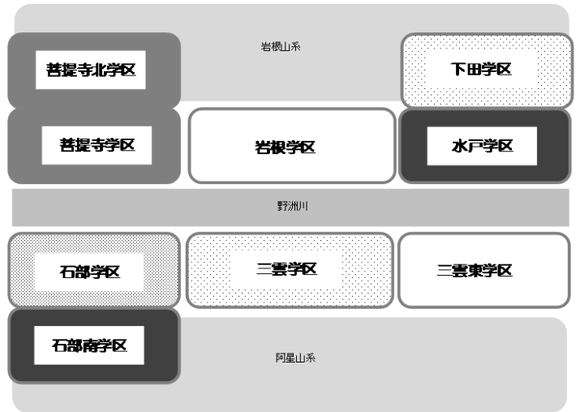
特定健診　男性　ＬＤＬ

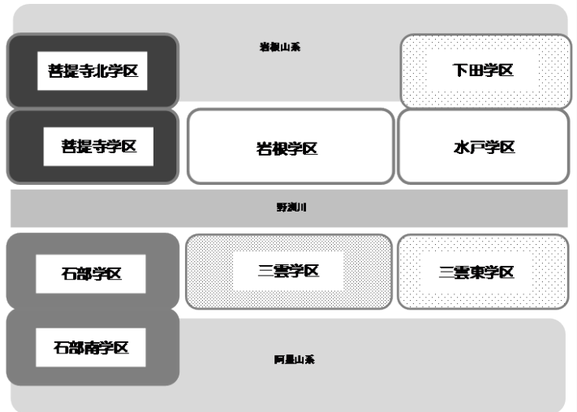
	HbA1c(女) 5.6以上(保)	順位
菩提寺北	54.4%	9
菩提寺	54.4%	8
石部南	54.2%	7
石部	51.8%	6
三雲	50.6%	5
三雲東	44.9%	4
下田	44.7%	3
水戸	42.0%	2
岩根	37.2%	1
湖南市	48.2%	

特定健診　女性　HbA1c

マップの凡例

- 最も悪い学区 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 1番目に良い学区





５年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が自分の健康状態について理解し、糖尿病・脂質異常症の予防に向けた取り組みができる。

重点的な取り組み（最優先課題）

糖尿病や脂質異常症の予防に取り組む必要がある。運動している人が多いことは強みとして活かしながら、食事内容や食習慣にも視点を向けて取り組んでいく。女性はＨｂＡ１ｃが高い人を今より３ポイント、男性はLDLが高い人を今より３ポイント減少させる。

現状と課題（特徴）

女性はHbA1ｃが高い人の割合が54.2%で、市平均48.2%と比較して、6.0ポイント高い。また、男性はLDLが高い人の割合が30.8%で、市平均24.4%と比較して6.4ポイント高い。

特に、女性は糖尿病、男性は脂質異常症の予防に向けた取り組みが必要である。

具体的な手だて（行動計画）

それぞれの自治会区で実施されている健康推進員の伝達料理講習会や地域での集まり等にて、地域の健康課題の現状と糖尿病・脂質異常症の予防に向けた取り組みについてを伝えていく。

女性だけでなく、多くの男性にも現状や予防の取り組みを伝えられるように、すでに活動しているサークルや集いに出向いて共有する場を持つ。

岩根小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	4,531 人		
国保加入率	21.4 %	自治会加入率	42.6 %
高齢者数	967 人	高齢化率	21.3 %
出生数	46 人	出生率(人口千対)	10.2 %
外国人数	365 人	外国人率	8.1 %

医療

医療機関	2 か所
歯科医療機関	2 か所

生活環境

岩根地区・小学校の歴史が長く、地域のつながりが深く、まちとしての基盤ができている。

まちづくり協議会が市内で最初に発足しており、行政を活用し、地域活動、健康づくり活動を実施している。

旧の地域とそれ以外の集合住宅等が多い地域がある。

転出入の割合や家族形態、外国籍の人の居住割合に差がある。

交通事故が多発している地域がある。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　2 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者		特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く）		健康診査（75歳～）
	男	女	男	女	男女
血圧130/85mmHg以上	28.0%	3.9%	38.8%	30.3%	48.6%
HbA1c 5.6%以上	28.0%	7.1%	48.2%	37.2%	66.7%
LDL 120mg/dl以上	36.0%	27.6%	18.8%	25.2%	57.1%
尿酸 7.0mg/dl以上	40.0%	0.0%	13.5%	1.8%	
BMI 25以上	28.0%	7.1%	31.8%	23.4%	

市平均より、優れているところ
市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 平成28年度（2016年度）健康づくり調査では、食事（色々な食品・塩分・油・果物）に気を付けている人の割合が高い。
- 平成28年度（2016年度）健康づくり調査では、地域活動に参加をしている人の割合が高い。
- 平成27年度（2015年度）特定健診受診率(受診者数/受診券配布者数）が市内で最も低い。
- 平成25年度（2013年度）生活圏域ニーズ調査では、栄養と閉じこもりに課題がある割合が市内で最も多い。
- 平成27年度（2015年度）要介護認定率は市内で最も高く、要介護度は重度（要介護3～5）の占める割合が高い。

その他

周りに相談する人が少ないため、育児に不安を感じている保護者から相談が多い。
外食できるところは、居酒屋などが多く、深夜に買い物ができるコンビニなども多い。

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

	BMI(男) 25以上	順位
岩根	31.8%	9
三曩東	31.0%	8
下田	30.6%	7
石部南	30.1%	6
菩提寺北	30.0%	5
水戸	29.9%	4
石部	29.2%	3
三曩	26.7%	2
菩提寺	24.7%	1
湖南市	29.3%	

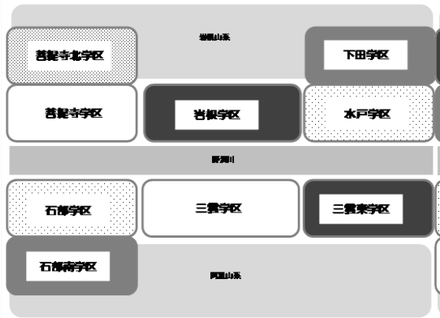
	30分以上の運動習慣なし 女	順位
岩根	62.8%	9
菩提寺北	62.4%	8
菩提寺	60.1%	7
下田	60.1%	6
水戸	59.7%	5
三曩東	58.5%	4
石部	56.2%	3
石部南	55.9%	2
三曩	55.7%	1
湖南市	59.0%	

	30分以上の運動習慣なし 男	順位
岩根	59.4%	9
石部	54.4%	8
菩提寺北	52.7%	7
三曩	52.0%	6
水戸	51.7%	5
下田	51.5%	4
菩提寺	48.5%	3
三曩東	48.3%	2
石部南	47.8%	1
湖南市	51.8%	

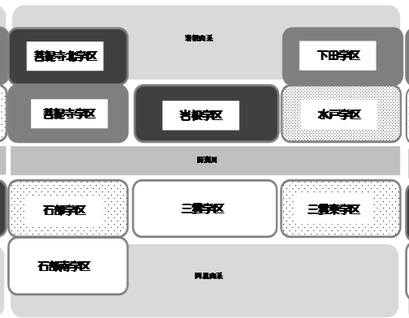
マップの凡例

- 最も悪い学区 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 1番目に良い学区

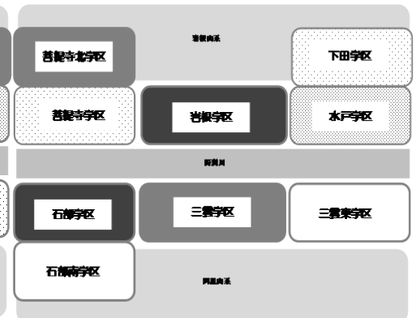
特定健診　男　BMI 25以上



特定健診　女　運動習慣なし



特定健診　男　運動習慣なし



5年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が「健診を受けよう」と声を掛けあい、健診を受け、自らの健康状態を把握し、肥満の改善に取り組むことができる。

重点的な取り組み（最優先課題）

特定健診受診率を上げて、市平均との差を５%以内とする。
運動習慣がない人の割合を5%減らす。BMI25以上の割合を5%減らす。

現状と課題（特徴）

平成27年度（2015年度）特定健診受診率は35.1%と市より5.6ポイント低く、健診を受けていない人が多い。
30分以上の運動習慣のない人の割合が男性で59.4%と市より7.6ポイント高く、女性で62.8%と市より3.8ポイント高いことから運動習慣がない人が多い。
BMI25以上の割合が男性で31.8%と市より2.5ポイント高く、女性で23.4%と市より2.1ポイント高いことから肥満者が多い。

具体的な手だて（行動計画）

地域で行われているサークル活動や寄り合いで健診の啓発を行い未受診者対策をする。
健康こなんポイント事業を利用し運動習慣の定着を図る。
健康推進員の伝達料理講習会や地域の集まりなどを利用し健康教育を行う。

菩提寺小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	7,076 人		
国保加入率	22.8 %	自治会加入率	83.7 %
高齢者数	1,783 人	高齢化率	25.2 %
出生数	70 人	出生率(人口千対)	9.9 %
外国人数	62 人	外国人率	0.9 %

医療

医療機関	4 か所
歯科医療機関	5 か所

生活環境

野洲川と菩提寺山に囲まれ、菩提寺山の南側に住宅地が広がる。

地区の中心地には、医療機関、商店・スーパー・銀行など生活に必要な場があり、中心地近くに住む人にとっては、徒歩で出かけることができる。

一方で、坂道の多い地域や中心地から離れた地域に住む人は、車での移動が中心となり、バスの本数も少なく、交通の不便さを感じる地域もある。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　1 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者		特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く）		健康診査（75歳～）
	男	女	男	女	男女
血圧130/85mmHg以上	11.8%	5.9%	34.5%	33.2%	48.7%
HbA1c 5.6%以上	20.6%	5.9%	56.0%	54.4%	60.0%
LDL 120mg/dl以上	29.4%	19.6%	27.3%	21.6%	52.6%
尿酸 7.0mg/dl以上	29.4%	0.7%	18.8%	1.7%	
BMI 25以上	5.9%	9.7%	24.7%	18.1%	

市平均より、優れているところ
市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 日頃、意識的に運動している人の割合が高く、食事の内容や摂り方について何も気を付けていないと答えた人の割合も少ない。
- がん検診を受けている割合が高い。
- 男性も女性も糖尿病予備群の割合が高い。
- 女性では、高血圧に注意の必要な人の割合が高い。
- 男性では、尿酸値が7.0%以上の人の割合が高い。

その他

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

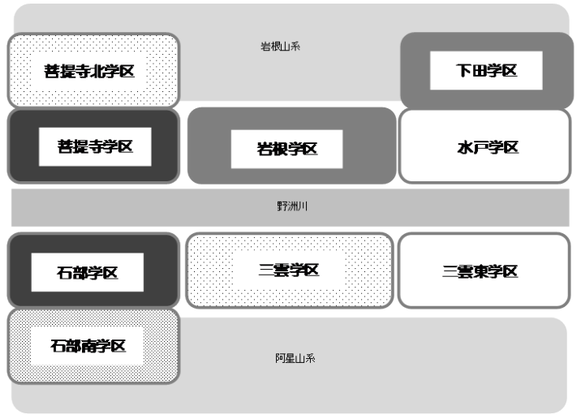
	HbA1c(男) 5.6以上(保)	順位
菩提寺	56.0%	9
石部	48.4%	8
岩根	48.2%	7
下田	47.5%	6
石部南	46.8%	5
菩提寺北	43.8%	4
三雲	43.2%	3
三雲東	36.6%	2
水戸	33.3%	1
湖南市	44.9%	

	HbA1c(女) 5.6以上(保)	順位
菩提寺北	54.4%	9
菩提寺	54.4%	8
石部南	54.2%	7
石部	51.8%	6
三雲	50.6%	5
三雲東	44.9%	4
下田	44.7%	3
水戸	42.0%	2
岩根	37.2%	1
湖南市	48.2%	

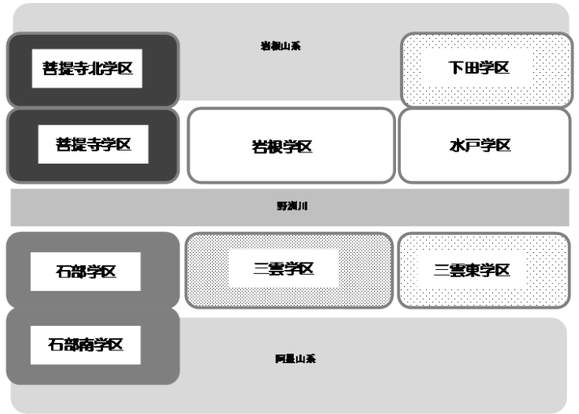
マップの凡例

- 最も悪い学区 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 1番目に良い学区

特定健診　男性　HbA1c 5.6%以上



特定健診　女性　HbA1c 5.6%以上



5年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民がつながりを持ちながら、より良い生活習慣を身につけ、糖尿病予防に取り組むことができる。

重点的な取り組み（最優先課題）

特定健診の結果で、ＨｂＡ１ｃ値が５．６%以上である人の割合を、今より男性は６ポイント、女性は４ポイント減少させる。

現状と課題（特徴）

ＨｂＡ１ｃの値が５．６%以上である人の割合が男性は５６．０%で市平均と比較すると、１１．１ポイント高く、女性は５４．４%で市平均と比較すると、６．２ポイント高い。
しかし、健康に関する住民の意識は高く、自分たちで健康のために取り組んでいる人もたくさんいる。
健診結果より、生活習慣の改善が必要であり、特に、糖尿病予防に取り組むことが必要である。

具体的な手だて（行動計画）

地区で開催される伝達料理教室でヘルシー料理レシピを伝え、一緒に調理し、家庭での食生活改善につなげる。

区配布物として、地区で糖尿病予備群である人が増加していることや地域・家庭でできる糖尿病予防の活動についてチラシを作成し、配布する。

菩提寺北小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	4,627 人		
国保加入率	20.4 %	自治会加入率	83.9 %
高齢者数	954 人	高齢化率	20.6 %
出生数	31 人	出生率(人口千対)	6.7 %
外国人数	43 人	外国人率	0.9 %

医療

医療機関	0 か所
歯科医療機関	0 か所

生活環境

まちとしての歴史は浅いが、住民には定住者も多い。

同居率は低いが、親族同士が近くにいる傾向があるため協力が得られやすい。自治会加入率は高く、情報伝達がしやすい。

食品店舗や公的な施設は、学区内に少ない。

災害時の避難場所である小学校は山手にある。田畑は少なく、農作物を自給している人が少ない。

公営住宅はなく、一般の集合住宅も少ない。一方で、様々な規模の高齢者施設がある。

＜主な食品店舗＞

スーパー　0 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者		特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く）		健康診査（75歳～）
	男	女	男	女	男女
血圧130/85mmHg以上	😟 36.8%	😟 12.7%	🙂 29.1%	🙂 25.3%	🙂 51.6%
HbA1c 5.6%以上	🙂 5.3%	😟 9.3%	🙂 43.8%	😟 54.4%	😟 57.1%
LDL 120mg/dl以上	😟 47.4%	😟 28.8%	😟 25.1%	🙂 25.7%	😟 54.8%
尿酸 7.0mg/dl以上	🙂 15.8%	🙂 0.0%	😟 18.7%	😟 3.0%	
BMI 25以上	🙂 15.8%	😟 5.9%	😟 30.0%	🙂 18.6%	

🙂 市平均より、優れているところ
😟 市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 🙂 平成27年度（2015年度）小中学校での朝食欠食率調査では、小中学校共に朝食を食べている人の割合が高い。
- 😟 特定健診質問票結果（男性）と平成28年度（2016年度）健康づくり調査結果では、朝食を食べていない人の割合が高い。
- 😟 特定健診質問票結果では、飲酒をしている人（女性）、喫煙をしている人、運動習慣のない人の割合が高い。平成28年度（2016年度）健康づくり調査でも、飲酒をしている人の割合が高い。
- 🙂 平成28年度（2016年度）健康づくり調査では、生きがいを持っている人の割合が高い。
- 🙂 平成27年度（2015年度）要介護認定率は市内でも高い傾向にあるが、要介護度は軽度（要支援）の占める割合が高い。

その他

まちづくり協議会が主催で、認知症に関する学習会や認知症徘徊保護訓練を数年前から実施している。サロンで食事提供も合わせて行うなど、工夫がされている。
子どもが習い事をしているという声をよく聞く、子どものことで悩みがあった時に自ら相談機関に来られる人が多い。

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

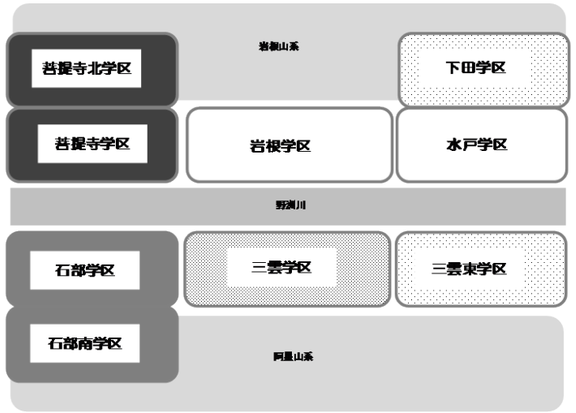
	HbA1c(女) 5.6以上(保)	順位
菩提寺北	54.4%	9
菩提寺	54.4%	8
石部南	54.2%	7
石部	51.8%	6
三雲	50.6%	5
三雲東	44.9%	4
下田	44.7%	3
水戸	42.0%	2
岩根	37.2%	1
湖南市	48.2%	

	尿酸(女) 7.0以上(保)	順位
菩提寺北	3.0%	9
石部南	2.6%	8
水戸	2.5%	7
三雲東	2.3%	6
岩根	1.8%	5
菩提寺	1.7%	4
三雲	1.5%	3
石部	1.1%	2
下田	1.0%	1
湖南市	1.9%	

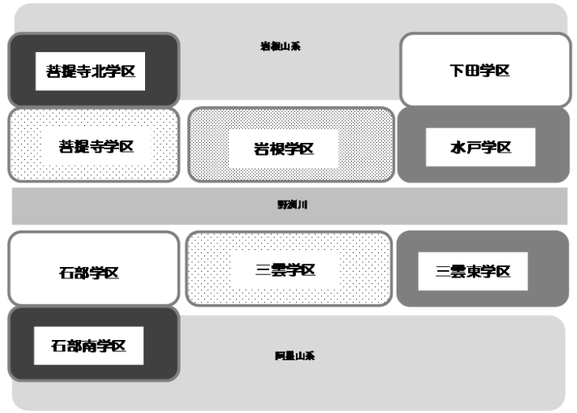
マップの凡例

- 最も悪い学区 / 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 / 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 / 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 / 1番目に良い学区

特定健診　女性　HbA1c 5.6%以上



特定健診　女性　尿酸 7.0mg/dl以上



5年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が、家庭全体で痛風・糖尿病のリスクを軽減させ、家庭内で上の世代が健康行動のモデルとなり、次世代に伝えていけるようになる。

重点的な取り組み（最優先課題）

子どもの保護者世代の朝食欠食割合を0％にする。
特定健診結果で女性においてHbA1c5.6%以上の割合が6.2ポイント、尿酸値7.0mg/dl以上の割合が1.1ポイント減少することで、痛風や糖尿病の予防ができる。

現状と課題（特徴）

特定健診質問票結果では、男性において朝食を食べていない人の割合が10.8%と市より2.1ポイント高い。また、健康づくり調査結果では、朝食を摂っている人の割合が「ほとんどなし」が12%で市より4.9ポイント高く、朝食を食べていない人の割合が高い。
特定健診結果から、尿酸値の高い人の割合が男性で18.7%と市より3.7ポイント高く、女性で3.0%と市より1.0%高い。HbA1ｃが高い人の割合も、女性で54.4%と市より6.2ポイント高いため、中年期・壮年期に痛風や糖尿病予備群の人が多くなっている。

具体的な手だて（行動計画）

朝食欠食については、学校保健委員会と連携して家庭全体で朝食の摂取ができるように取り組んでいく。
痛風・糖尿病予防については、子育てサロンや離乳食教室、食育教室などを保護者参加型にして、乳幼児期・学齢期の保護者世代が、子どもの健康と同じように自身の健康についても目を向け、家庭全体で嗜好品の適正な取り方、野菜の摂取量増加ができるよう働きかけていく。

下田小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	6,154 人		
国保加入率	21.8 %	自治会加入率	63.3 %
高齢者数	1,464 人	高齢化率	23.8 %
出生数	66 人	出生率(人口千対)	10.7 %
外国人数	224 人	外国人率	3.6 %

医療

医療機関	1 か所
歯科医療機関	0 か所

生活環境

山に囲まれて、川も流れ、田畑も多く、里山が残っており、自然や環境に恵まれている。

行政区は９つあり、旧下田地区は商店街や郵便局があり、買い物などの日常生活が便利である。

大きな道路が多く、トラックなどの大型車の交通が多い。

旧下田学区と新興団地が一緒になって、体育祭やハイキング、泥リンピックなどの行事を開催している。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　0 店舗

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

	BMI(女) 25以上	順位
下田	25.9%	9
水戸	23.9%	8
三曇	23.7%	7
岩根	23.4%	6
三曇東	20.0%	5
石部	18.9%	4
石部南	18.8%	3
菩提寺北	18.6%	2
菩提寺	18.1%	1
湖南市	21.3%	

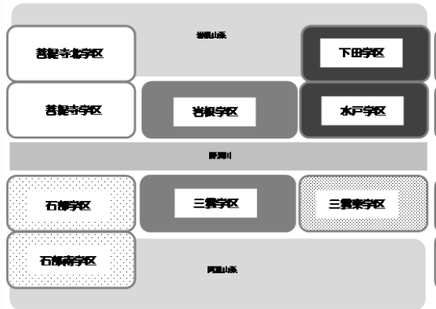
	血圧(女) 130/85以上(保)	順位
石部	45.8%	9
下田	45.5%	8
三曇東	34.7%	7
菩提寺	33.2%	6
三曇	30.7%	5
岩根	30.3%	4
石部南	25.5%	3
菩提寺北	25.3%	2
水戸	21.8%	1
湖南市	32.5%	

	血圧(男) 130/85以上(保)	順位
石部	50.0%	9
下田	44.4%	8
岩根	38.8%	7
三曇	35.6%	6
石部南	35.1%	5
菩提寺	34.5%	4
三曇東	30.6%	3
菩提寺北	29.1%	2
水戸	26.4%	1
湖南市	36.1%	

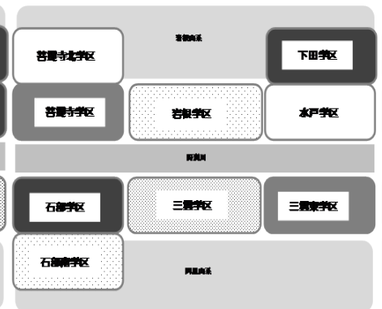
マップの凡例

- 最も悪い学区 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 1番目に良い学区

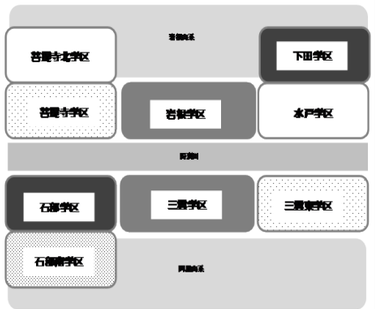
特定健診　女性　BMI



特定健診　血圧　女性



特定健診　血圧　男性



市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者 男	成人健診 女	特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く） 男	特定健診 女	健康診査（75歳～） 男女
血圧130/85mmHg以上	19.5%	5.9%	44.4%	45.5%	75.3%
HbA1c 5.6%以上	14.6%	9.2%	47.5%	44.7%	52.1%
LDL 120mg/dl以上	43.9%	16.8%	21.6%	23.6%	41.6%
尿酸 7.0mg/dl以上	17.1%	0.0%	12.7%	1.0%	
BMI 25以上	17.1%	11.2%	30.6%	25.9%	

市平均より、優れているところ
市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 食事の内容に問題があると思っている人は多いが、気を付けている人の割合は低い。
- 外食・調理済みの食品を摂取する人の割合は少ない。
- 女性は、朝食を週３回以上ぬく人や、夕食後の間食を週３回以上食べている人の割合が高い。
- 男女ともに、適正飲酒以上の飲酒習慣のある人の割合は高い。
- 健診受診者の結果では、男女ともに高血圧に注意が必要な人や、肥満の割合が高く、糖尿病予備群の人の割合も高い。
- 男性の喫煙率は市平均より高い。
- 女性は、継続して運動をしている人の割合は、少ない。

その他

５年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が自分の地域の健康の状況を把握し、高血圧症予防や適正飲酒についての取り組みを考え、地域全体で肥満の人の割合が減少する。

重点的な取り組み（最優先課題）

高血圧症予防について啓発し市平均より10ポイント以内に減少させる。
肥満の人は、今より男性0.5ポイント、女性は1.5ポイント減少させる。

現状と課題（特徴）

男女ともに、肥満の人は男性が市平均より1.3ポイント高く、女性は4.6ポイント高い。
男性は糖尿病予備群の人が市平均より2.6ポイント高い。
高血圧症に注意が必要な人は、市平均より男性が8.3ポイント高く、女性は13ポイント高い。
適正飲酒以上の飲酒習慣のある人は、市平均より男性で1.5ポイント、女性で0.7ポイント高い。
特に女性では、運動習慣がない人の割合が市平均より１.１ポイント高い。

具体的な手だて（行動計画）

肥満や多量飲酒は、高血圧症や、糖尿病を引き起こし悪化させるため、肥満の割合の減少に向けてまちづくりセンター加入の団体等と連携して運動の定着をすすめる。また適正飲酒についての啓発も行い、健康意識について地域ぐるみで取り組みを広げていく。

水戸小学校区の重点的取り組み

基本データ

人口等の状況

平成29年（2017年）10月1日現在

学区人口	5,438 人		
国保加入率	19.0 %	自治会加入率	77.3 %
高齢者数	805 人	高齢化率	14.8 %
出生数	39 人	出生率(人口千対)	7.2 %
外国人数	928 人	外国人率	17.1 %

医療

医療機関	2 か所
歯科医療機関	1 か所

生活環境

昭和45年に湖南工業団地の工場操業の開始に伴い開発された住宅地域である。現在は従業員以外も多く住んでおり比較的新しい地域である。

近隣には買い物施設や医療機関も充実しており生活しやすいが、駅が遠くバスの本数も少ない。

自治会や水戸まちづくり協議会などを中心に様々な活動を展開しており、地域のつながりが強い。

外国籍の人の割合が市内で最も高く、多文化交流事業などにも取り組むなど様々な文化を受け入れている地域である。

＜主な食品店舗＞

スーパー　　0 店舗

市民の健康状態

健診状況

（各種健診受診者における要指導以上の人の割合）

区分	成人健診(19～39歳) 2012～2015年重複受診者		特定健診(40～74歳) 2012年～2015年受診者（重複者除く）		健康診査（75歳～）
	男	女	男	女	男女
血圧130/85mmHg以上	😟 30.3%	😟 7.2%	😊 26.4%	😊 21.8%	😟 65.8%
HbA1c 5.6%以上	😊 12.1%	😊 4.4%	😊 33.3%	😊 42.0%	😟 56.3%
LDL 120mg/dl以上	😊 39.4%	😟 26.0%	😟 27.9%	😊 22.7%	😊 39.5%
尿酸 7.0mg/dl以上	😟 27.3%	😟 0.6%	😊 13.4%	😟 2.5%	
BMI 25以上	😟 36.4%	😟 11.0%	😟 29.9%	😟 23.9%	

😊 市平均より、優れているところ
😟 市平均と比べて、心配なところ

健康づくり調査や健診質問票結果から

- 😟 成人健診結果より、男女ともにBMI25以上、腹囲85cm以上の割合が多い。
- 😟 特定健診結果より、男女ともに血圧において保健指導値の割合は市内で最も低いが、受診勧奨値の割合は男女ともに高い。HbA1cの値も市平均より高く、尿糖（+）の割合も市内で最も高い。
- 😟 特定健診質問票より、女性の喫煙率や適正飲酒以上の割合が高く、朝食を週３回以上ぬく割合も多い。
- 😟 健康づくり調査より、野菜を食べている人やバランスよく食べている人の割合が市平均よりも低く、外食率も高い。日頃意識的に運動している割合も市内で最も低い。しかし、食生活を今後よくしていきたいと考える人の割合は市内で最も高い。

その他

学童期のローレル指数160以上の割合が7.6%（市平均3.5%）。男女ともに市平均よりも高い。
学童期の朝食の欠食率は1.9%（市平均1%）と市平均の約2倍である。

健康マップ

学区別の主なデータ比較マップ

	BMI（女） 25以上	順位
下田	25.9%	9
水戸	23.9%	8
三雲	23.7%	7
岩根	23.4%	6
三雲東	20.0%	5
石部	18.9%	4
石部南	18.8%	3
菩提寺北	18.6%	2
菩提寺	18.1%	1
湖南市	21.3%	

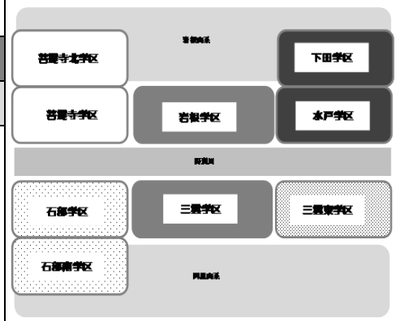
	朝食を週3回以上抜く 女	順位
水戸	6.7%	9
下田	6.5%	8
岩根	6.4%	7
三雲	6.2%	6
石部南	6.1%	5
菩提寺北	5.9%	4
菩提寺	4.4%	3
三雲東	4.2%	2
石部	3.0%	1
湖南市	5.5%	

	喫煙あり 女	順位
水戸	11.3%	9
菩提寺北	7.2%	8
岩根	6.0%	7
菩提寺	5.7%	6
三雲	5.7%	5
石部南	5.5%	4
石部	4.4%	3
下田	4.3%	2
三雲東	3.4%	1
湖南市	5.9%	

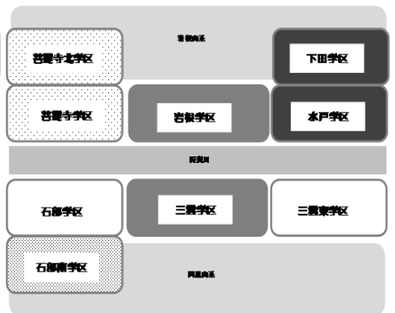
マップの凡例

- 最も悪い学区 / 2番目に悪い学区
- 3番目に悪い学区 / 4番目に悪い学区
- 5番目に良い学区
- 4番目に良い学区 / 3番目に良い学区
- 2番目に良い学区 / 1番目に良い学区

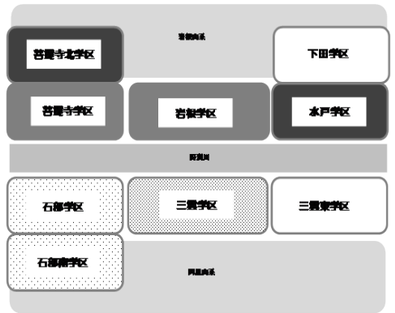
特定健診　女性BMI25以上



特定健診　女性　朝食を週３回以上ぬく人



特定健診　女性　喫煙あり



5年後のめざす姿

市民が、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善に向けて取り組むことで、生涯を通じて市民一人ひとりが輝ける健康なまちづくりを目指す。

地区住民が、規則正しい食生活を心がけ、実践できる。

重点的な取り組み（最優先課題）

女性の肥満の割合を2ポイント減少させる。
朝食を週３回以上ぬく女性を1ポイント減少させる。
喫煙する女性を3ポイント減少させる。

現状と課題（特徴）

学齢期の肥満の割合が市平均より4.1ポイント高い。特定健診受診者の肥満（BMI高値）の割合が女性は2.6ポイント、男性は市平均より0.6ポイント高い。
食生活の乱れ（朝食を週３回以上ぬく女性の割合が市平均より1.2ポイント高い）も関連していると予測される。
また、女性の喫煙率が市平均より5.4ポイント高く、適正飲酒以上の割合が市平均より1.3ポイント高いことも特徴的である。

具体的な手だて（行動計画）

子どもから大人まで健康課題を共通認識できるよう、子育てサークルの参加者や学校、まちづくり協議会などと課題を共有する場を持つことで、規則正しい生活習慣を身につける。
SNSを活用して、やさしい日本語を用いて健康情報（肥満予防につながる食生活・運動）の発信を行うことで、外国籍の人にも情報提供ができる。